



photo by MARTIN RICHARDSON

ロミオとジュリエット

R JULIET

ROMEO &
JULIET
written:
W・SHAKESPEARE
music:
S・PROKOFIEV
構成・演出・振付 大島早紀子×白河直子 SOLO DANCE

3月27日(木)→30日(日)

パナソニック・グローブ座

グローブ座
春のフェスティバル '97
参加作品

ART CHAOS
H・アール・カオス

RJULIET & JULIET

構成・演出・振付 SOLO DANCE
大島早紀子×白河直子

初演時の主な舞台評より抜粋

■日本経済新聞 一九九六年三月二五日

一段と光彩放つ意欲作

◎踊り手の身体の中から泉のごとくわき出てくるような流麗自在なその動きは、振付家とダンサーの一体化が至高点に達した好例だ。
◎フィルムを送りのように機敏で切れの鋭い白河の動きは、流行のなごりたる攻撃性とは一線を画す。「鋼のしなやかさと強靱さを編で仕上げた美しさ」とでもいおうか。

舞踊評論家 伊地知 優子

■月刊ダンスマガジン 一九九六年六月号

劇的な電影少女

◎白河直子の独舞「ロミオとジュリエット」は、劇的な空間、劇的な構成、劇的なダンスによって印象的な公演となった。演出の大島早紀子は空間を縦横に利用して劇的な空間を提出した。◎かくて電子世界のロミオとジュリエットは、コンピュータウィルスによって再生不能となるのである。大島はこの物語を、家制度による悲劇としてでなく、情報処理の悲劇として捉えなおしたので、この解釈は新しい。
◎ロミオとジュリエットの二役を演じた白河直子のダンスも見事なものだった。たった一人で二時間余を持ち堪えることができるだろうかという心配は杞憂だった。

大学教授・舞踊評論家 尼ヶ崎 彬

■週刊オン☆ステージ新聞 一九九六年四月二日

麻薬中毒ロミオ、戦慄の舞い

◎日常的なしぐさのようですが、白河にかかると不思議に人を魅惑し純舞踏的な語りへと滑らかにつながっている。白河も素晴らしいが、振付で魔力を与えられる大島の才能にむしろ驚嘆する。◎音質を落としたジョン・レノンの「イマジン」を、バックにジュリエットを失った麻薬中毒のロミオが硬直し映(こ)え笑し、狂い舞う場面はまさに戦慄であった。我々はニンスキを見られなかった不運をかこっているが、今回はかりは立場が逆である。今日の白河を見られなかった方には衷心よりご同情申し上げます。

舞踊評論家 門行人

■月刊 社会民主 No.492

“両性具有神話”想起させるソロダンス

◎瞬にして白河は女から男へ変貌した。同時に愛の喜びが破裂した一瞬でもあった。二人はもしかしたら、女と男が一つ肉体を共有するという究極の愛を目指したのではないか。そんな神話的な妄想も浮かんだ。◎また悩めるロミオが、飛翔を繰り返すラスト近くのシーンも同様に心に残る。ロープを使ったフライングは技術的には珍しいものではないが、何かに繋ぎ留められ、本当に飛ぶことのできないロミオの絶望は、繰り返されるたびに深まっていき、狂おしい。大島は「ロミジュリ」の上演史に意外なところから直球を投げ込んできた。

フレイボート 編集長 鎌滝 雅久

(敬称略・順不同)



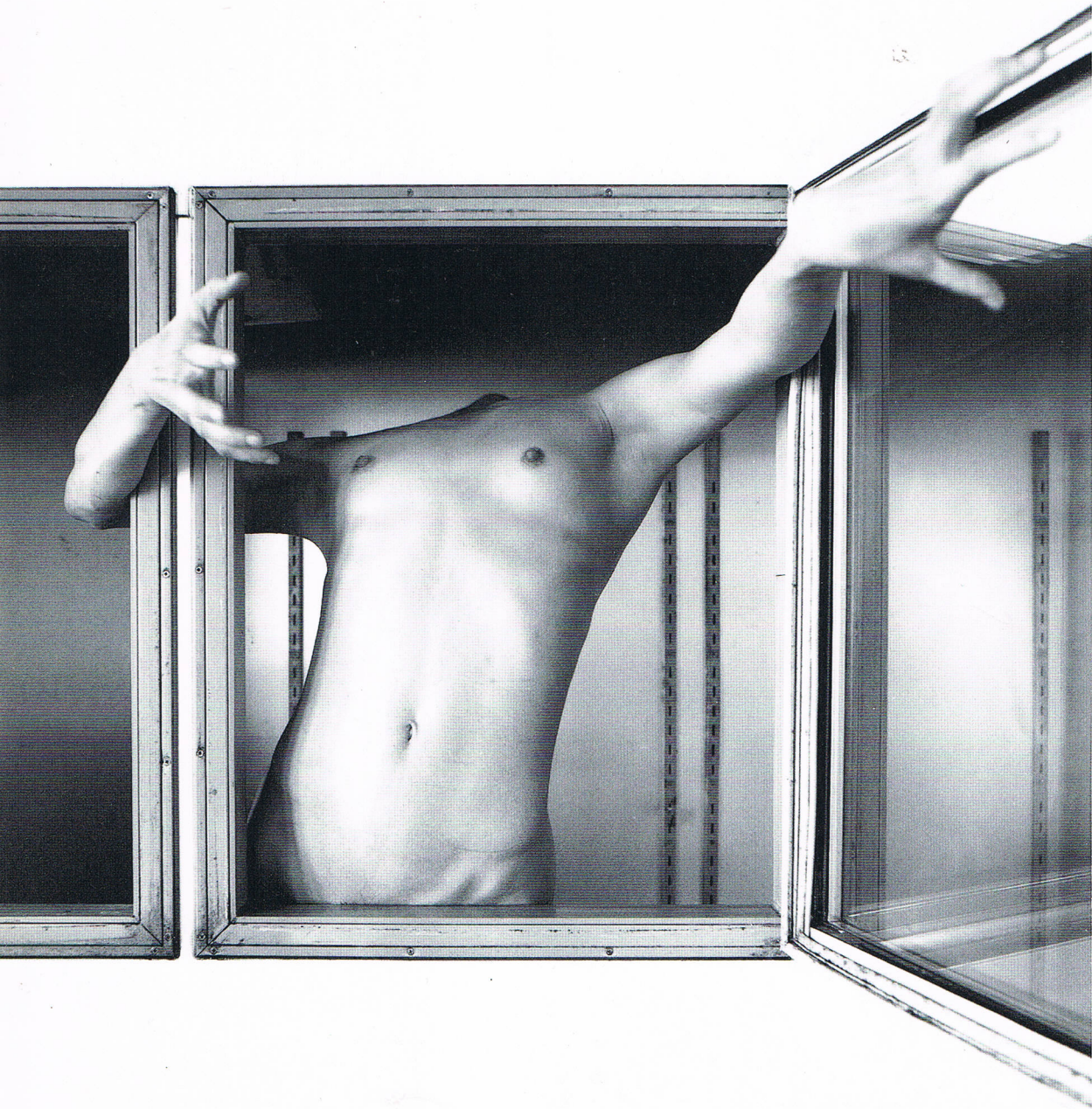
本作品は、フランス・パリのフェスティバル、
クレテールのメゾン・ド・アート大劇場にて公演。フランス人
カトリーヌ・ディヴェレスとベルナルド・モンテの新作と
世界を魅惑する白河直子、

SOLO DANCE
NAOKO SHIRAKAWA
 Directed by SAKIKO OHSHIMA

ART CHAOS
 H・アール・カオス

〒154 東京都世田谷区上馬5-20-21上馬柏ビル2F
 TEL/FAX 03-5477-0120

- 映像制作 太田実 ●映像技術チーフ 辻川正志 (株式会社イーグル)
- 作曲・編曲 フレデリック・デリダ ●衣装デザイン 田中広美
- 照明 小笠原純 ●音響 藤田赤目 ●音響オペレーター 水谷雄治
- アートデコレーター 東浜弥生 ●衣装協力 STUDIO FIVE CORP.
- 舞台監督 三津久 ●メイク 古川陽二 ●空間美術 H・アール・カオス
- 宣伝写真 MARTIN RICHARDSON ●制作チーフ 岸正人
- 制作 細田恵子・梅原洋子・広中由美子・(有)東京アートファクトリー
- フェスティバル主催 (財)舞台芸術センター パナソニック・グローブ座
- 協賛 松下電器産業株式会社・STUDIO FIVE CORP.
 キリンビール株式会社



エンナーレ・ヴァルド・マルヌに招待参加。
現代舞踊家、現レヌヌ／ブルターニュ国立舞踊センター代表
ともに名誉あるフェスティバルのオープニングを飾る。
ファン待望の凱旋公演！

1997年3月27日(木) 19:30~28日(金) 19:30~29日(土) 15:00~30日(日) 15:00~

パナソニック・グローブ座 〒169 東京都新宿区百人町3-1-2 (JR新大久保駅下車徒歩6分) TEL.03-3360-1151

- チケット発売予定 1996年12月14日(土)
- チケット◎前売り 指定席¥4,500/自由席¥3,500 ◎当日売 指定席¥5,000/自由席¥4,000
- チケットお取り扱い ◎チケットびあ 03-5237-9999 ◎チケットセゾン 03-3250-9922
- ◎パナソニック・グローブ座チケットセンター 03-3360-3240
- ◎H・アール・カオステル・FAX予約 03-5477-0120

●チケット代金振込先 ◆郵便振替:東京00170-1-66619 H・アール・カオス ◆銀行振込:第一勧業銀行北沢支店 普1631066 H・アール・カオス
(カナダ・ロス・NY公演のため、電話予約の取り扱いは1997年1月6日(月)からとさせていただきます。FAX予約は12/14チケット発売と同時に取り扱わせていただきます。)



グローブ座
春のフェスティバル